



低炭素社会の実現に向けて ～埋立処分量を最小化する処理システム～

人口の急増と経済成長で世界の廃棄物の排出量は毎年急増し、排出される廃棄物の大半はレベルの低い、いわゆるオープンダンプ(露天埋立)が行われています。しかし処分場はすぐに満杯になり、新たな処分場を継続的に確保しなければなりません。しかしそれはどこでも困難になってきています。また処分場からの浸出水の管理が長期間にわたって続くとともに、過去の実績から迷惑施設と認識され、周辺の住民からは処分場の立地に反対されている例もたくさんあります。また最終処分場からのメタンガスは地球温暖化ガスであるため、埋立処分は回避すべしとの声も大きくなってきています。そこで今回は、埋立処分の役割と課題を明らかにし埋立処分量を最小化する処理システムを考えるシンポジウムを企画しました。

大阪
会場

11 / 29 (水)
13:30 ~ 16:30

大阪府社会福祉会館 301号室
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15

東京
会場

12 / 1 (金)
13:30 ~ 16:30

全理連ビル 9F B・C室
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-4

【定員】 各会場120名 (座席の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。)

【参加費】 協賛団体、協力団体会員:5,000円 非会員:10,000円 自治体職員:4,000円 学生:3,000円

主催:(株)廃棄物工学研究所 特別協力:公立鳥取環境大学 後援:環境省(申請中)

協賛:(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公社)全国産業廃棄物連合会
(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(公財)廃棄物・3R研究財団、(一社)プラスチック循環利用協会

協力団体:(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)日本産業機械工業会
(一社)日本廃棄物コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)廃棄物資源循環学会、有害・医療廃棄物研究会
ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、産業廃棄物処理業経営塾、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム、(一社)日本ガス協会

プログラム

13:30 開会の挨拶・シンポジウム企画趣旨

公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝

13:45 基調講演:最終処分の現状と焼却処理残さの リサイクルの取組み

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課
課長 瀬川 恵子 氏

14:15 地方行政解説:東京多摩地域の焼却残さの 有効利用に果たすエコセメント化施設の役割

東京たま広域資源循環組合
エコセメント担当参事 佐藤 基以 氏

14:35 技術解説:処分量を左右する分別収集と中間処理

(一社)日本環境衛生施設工業会 技術委員会
委員長 保延 和義 氏、副委員長 秩父 薫雅 氏

14:55 休憩

15:05 特別講演:イタリアにおける廃棄物処理と 埋立処分の役割と課題

イタリア・パドヴァ大学産業工学部
准教授 ロベルト・ラガ 氏



15:40 特別報告:EUなどの焼却残さ再生利用と法制度

株式会社エックス都市研究所
特別技術顧問 浦邊 真郎 氏

16:00 パネルディスカッション 「低炭素社会の実現に向けて ～埋立処分量を最小化する処理システム～」

コーディネータ: 田中 勝
パネリスト: 上記講演者

16:30 閉会

※やむを得ずプログラム・講演者が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お申し込み方法

参加には事前の申し込みが必要です。裏面の参加申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、参加申込受付完了メールにて「受付番号」をお送りいたします。

●申し込み先: **FAX 086-239-5303**

●webからの申込みは、右記のホームページをご覧ください。<http://www.riswme.co.jp>

お振込先

●りそな銀行 芝支店(普)1490768 カ)ハイキブツウカクケンキウシヨ

参加費は事前振込でお願い致します。また、お振込いただく際、振込人名義は「受付番号+参加代表者氏名」としてください。振込手数料は参加者各自でご負担願います。